

令和 6 年 1 月 18 日

水素産業の今を知り未来につながる関係者と出会える交流イベント 「第 2 回関西水素産業交流ラウンジ」を開催！

近畿経済産業局は、令和 6 年 2 月 22 日（木）に、水素産業関係者が一堂に会す交流イベント「第 2 回関西水素産業交流ラウンジ」を開催します。今回は、同産業のリーディングカンパニー5 社や先端技術研究を行う大学が抱える課題・ニーズに対して参加企業が有する技術力等を提案出来るビジネスマッチングや、参加者同士がリアルにコミュニケーションを図ることが出来る交流会等、様々な出会いを創出する内容となりますので、水素産業にご関心のある方はこの機会に是非ご参加ください。

1. 背景と課題

世界的な脱炭素化に向けた取組を背景に、水素は CO₂ を排出しない新しいエネルギーキャリアとして期待されています。こうした中で日本国内では大企業を中心に数多くの実証事業が推進されていますが、今後の水素社会実現のためには、大企業だけでなく中堅・中小企業をはじめとした様々なプレイヤーを巻き込んで社会実装を進めていく必要があります。

そこで当局は、各関係者間の交流促進を図りながら、今後の水素関連産業の発展と機運醸成を目的とするマッチングイベント「第 2 回関西水素産業交流ラウンジ」を開催します。高い技術力を有している中堅・中小企業はもちろんのこと、水素産業に関心がある幅広いプレイヤー等を対象に、企業同士の事業共創を促すことで水素関連産業の活性化を目指します。

2. 第 2 回開催概要

第 2 回目は、関西に拠点を置く水素のリーディングカンパニー5 社や、先端技術研究を行う大学、水素を活用した地域課題の解決等を目指す自治体が登壇し、各取組内容の紹介やそれぞれが抱える課題・ニーズ等を発表します。またイベント終了後は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営するビジネスマッチングサイト「J-GoodTech（ジェグテック）」を活用し、登壇企業より発表されたニーズに対し、参加企業が自社の技術・知見等を提案できる機会を設けます。そして、参加企業・団体との出会いと繋がり創出、さらにはアイデアや技術・知見等を持ち寄り課題解決に向けた事業共創を目指します。

※ 第 1 回（令和 5 年 10 月 26 日開催）は約 200 名が参加し、関西の水素関連企業だ

けではなく、外資系企業や自治体・大学から幅広い視点から水素産業の現状を講演して頂きました。また講演終了後には、イベント参加者同士の交流会も初めて開催し非常に盛況の内に終了しました

開催日時 令和6年2月22日(木) 13:00-16:30
会場 NTT西日本/QUINTBRIDGE(クイントブリッジ)※注1
(大阪市都島区東野田町4丁目15番82号)
定員 100名(オンライン配信(MicrosoftTeams)も同時実施)
参加費 無料
申込方法 以下URLもしくは右記二次元コードから申し込み

<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kansai01/form352>

※令和6年2月16日(金曜日)締切



主催 近畿経済産業局
共催 独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部
協力 大阪府、兵庫県、滋賀県、京都府、京都市、神戸市、大阪商
工会議所、大津商工会議所、神戸商工会議所、公益財団法人
滋賀県産業支援プラザ、公益財団法人京都産業21、公益財団
法人京都高度技術研究所、公益財団法人新産業創造研究機
構、公益財団法人神戸市産業振興財団、一般社団法人大阪科
学技術センター

プログラム

登壇者	タイトル
① 阪神機器株式会社 取締役 黄 勝義氏	純水素燃料電池発電システム開発事業の ご紹介
② ヤマト・H2Energy Japan 株式会社 代表取締役社長 平瀬 育生氏	脱炭素社会に於ける経済的な燃料電池フ ォークリフト(FCFL)燃料電池自動車 (FCV)への水素供給について
③ 神戸大学 客員教授 駒井 啓一氏	神戸大学「水素・未来エネルギー技術研究 センター」の紹介
④ 京都府 脱炭素社会推進課 参事 小林 洋一郎氏	京都府の水素利活用促進に向けた取組に ついて
⑤ 川重冷熱工業株式会社 参与 橋本 賢吉氏	水素利用製品の紹介
⑥ 日立造船株式会社 水素開発グループ長 木村 忠司氏	PEM 型水素製造装置の構成機器と技術要 素
⑦ パナソニック株式会社 水素燃料電池戦略担当 加藤 玄道氏	水素燃料電池の普及を通じたカーボンニ ュートラル社会の実現

⑧ 独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部 担当者	J-GoodTech を活用した提案方法について
⑨ 参加者同士による交流会 (会場参加者のみの名刺交換会)	—

※ 第 2 回は、登壇企業からの技術提携パートナーや共同研究パートナーの募集等が見所となっています。詳細については、イベント内にて発表します

3. 今後の展開

水素社会の実現には、各企業の事業推進はもちろん、他社との連携や、地方自治体・他産業との共創が不可欠です。近畿経済産業局は、様々なプレイヤー同士による交流機会の場を継続的に設け、水素関連産業の事業共創に繋がる取組を推進します。

【注 1 : QUINTBRIDGE について】

QUINTBRIDGE (クイントブリッジ) は、NTT 西日本が運営するオープンイノベーション施設です。企業・スタートアップ・自治体・大学などが自由に交流し、それぞれの思いやアセットを共有しながら共創を進め、実社会での活用をめざします。会員とともに社会課題の解決と未来社会の創造を成し遂げ、ウェルビーイングが実感できる社会を実現することを目的としています。

<https://www.quintbridge.jp/>



QUINTBRIDGE

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 カーボンニュートラル推進室長 織田

担当者 : 内野、藤田

電 話 : 06-6966-6055

F A X : 06-6966-6089

